

# III 授業実践事例編

## かけがえのない生命～私の生き立ち～

中学校  
1 学年  
学級活動

### 1 ねらい

- (1) 両親の愛を受けて生まれ、成長してきたことを理解し、生命を尊重する態度を養う。
- (2) 自分や友達など一人一人がかけがえのない存在であることに気付き、自分自身を大切にするとともに、他者へのいたわりの気持ちをはぐくむ。

### 2 題材について

最近、小さな子どもが殺されたり、子どもが親を殺したり、10代の自殺が相次ぐなど痛ましい事件が後を絶たない。

生徒の中でも、軽い気持ちで相手が傷つくようなことを言ったり、ふざけ合いがエスカレートして、相手を傷つけてしまうような場面をよく目にする。自分達がどのようにして生まれ、家族の愛を受けて育ってきたかを知ることによって、生命の大切さ、他人への思いやりを学ばせたい。

### 3 児童虐待防止指導上のねらい（身に付けさせたい資質・能力①-ア、イ）

- (1) 両親の愛情を受けて生まれ、成長してきたことを理解し、生命を尊重する態度を身に付けさせる。
- (2) 自分自身を大切にするとともに、他者へのいたわりの気持ちを持たせる。

### 4 展開

#### ☆児童虐待防止指導上の配慮

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 ・ 支 援
導 入	1 赤ちゃんの人形を抱いて、感想を述べる。 ・赤ちゃんの重さ、大きさを人形を通して実感する。 ・平均的な赤ちゃんの体重、身長を知る。（身長約50cm、体重約3000g）	・赤ちゃんの平均身長・体重にあわせた人形を用意する。 ・生徒に赤ちゃんの人形を抱かせて赤ちゃんの身長や体重を実感させる。 ・赤ちゃんの身長、体重はどれくらいか予想させ、平均身長・体重を知らせる。
	2 自分は、生まれてからどのように成長してきたのか、また、自分の名前の由来について知る。 ・自分が生まれたときの身長・体重	・母子手帳等から生まれたときの身長・体重や名前の由来等について事前に調べさせておく。



- ・子どもたちに対し、様々な場面で多くの教職員がいろいろな角度から関わりを持つように努める。
  - ・家庭の協力に感謝するとともに、一方通行で終わらないために、親子で命についての発展的学習ができるよう、はたらきかける。
- (4) その他
- ・授業実践には、生徒理解が十分にできていることが大切である。そのためには、担任のみならず、教師間の生徒に関する情報交換が重要であるとともに、学校組織の円滑な運営が望まれる。

## 7 成果と課題

### (1) 成果

- ・保護者があらためて子どもへの思いを強めることができた。
- ・多くの人に見守られ、助けられ、期待されて誕生してきたことを保護者の作文から知ることができた。
- ・名前の由来を知り、親の願いを感じ取り、将来への展望を持つことができた。
- ・自分だけでなく、友達も同じく親に大切に育てられたんだと知ることができた。
- ・命の大切さや無駄な命はないこと、命の重さはみな同じだと子どもたちが感じることをできた。

### (2) 課題

- ・道徳や他の教科の授業等と関連させ、生命の大切さを理解させる学習について、計画的に実施したい。
- ・今回の授業実践では、全ての保護者から、「妊娠中・誕生時・小学校入学までのエピソード」がいただけたが、エピソードを準備できない生徒が予想される場合には、この授業を実施するにあたっては一考を要する。

### (授業の様子)



(生徒の感想)

○保護者の方が書いたエピソードを読んで、感じたことを書きましょう。

新しい命が誕生するという事は、とても大きな  
事だけれど、とてもうれしい事なんだよねという事がわ  
かりました。早くエピソードがあるけれど、親が  
子供を思う気持ちは、みんな同じなんだね  
と思いました。

1人1人、色々な体験を乗り越えてきて、とても辛い思い  
をしながら、今まで育ててきてくれたんだなあ。と思うと、ありが  
たうと言う感謝の気持ちでいっぱいになりました。私達を産ん  
でくれたお母さん達は、とても強いなあと思いました。

お母さん達が私達が生まれることをこんなに喜んで

くれていたと分かって、すごくうれしかったです。

私のお母さんは、毎年私の誕生日になると「生まれてくれてありがとうね」

と言ってくれます。私も、「生まれてくれてありがとう」と言おうと毎年毎年思っているけれど

泣きそうになるので声に出せません。

本当に、お母さんには感謝したいと思います。

ぼくたちが生まれる前や生まれた時は、感謝や  
すごいつらい思いをしていたんだなと思いました。

病気にかかった時は、すごい心配したりしてくれ  
ているから、とてもぼく達のことを大切にしていると思

ったので、ぼくもこの命を大切にしたいなと思いました。

## 資料

### ★妊娠中や誕生の時のエピソード

妊娠中は、切迫流産、切迫早産、ともに入院し、安静を保ち、出産を迎えました。つわりも強く、普段は何とも思わない水の臭いでさえ、吐き気をもよおし、マスクをして、家事をした覚えがあります。出産時、微弱陣痛で、3日間、10分おきの痛みがやってきました。陣痛を進める為、病院の階段を何往復もして、陣痛を早めました。あまりにも長い陣痛時間のため、途中、心音が聞こえなくなったらしく、先生が電気棒のような物で刺激を与え、心音再開させたほどだそうです。無事生まれてきたときは、喜びでいっぱいでした。

当時医者からはあきらめてくださいと告げられ、普通分娩では助からないと説明を受け、わずかながらの可能性にかけた帝王切開に急きょ変更して生まれた子でした。全てが予定外の話ばかりで、家族中が動揺しながらの大出産となったことは今でも忘れられません。安産で生まれること、普通に生まれることが当たり前ではないことと、無事誕生した際の喜びは格別だということを痛感いたしました。

いざ、陣痛がきて、出産になった時に頭の上に片方の手がのっている状態で産道に入ってしまい、安全を考えて帝王切開になってしまいました。麻酔をしておなかを切って、あばら骨の内側にぶつかりながら出てきたあの感触は今でも忘れられません。頭の上ののっていた片方の手にきつとたくさんの幸せを握って生まれてきたのかな？と思っています。

### ★ 小学校入学までのエピソード

生後まもなくアトピーによる受診。1歳2か月には喘息で入院。と、身体の弱い子でした。1か月毎日通院というときもありました。入学まで入院が6回。看護師さんたちにもすっかり覚えられました。…が、優秀な入院患者ではなく、点滴の固定はどんどん強烈な支柱になっていきました。それでも持ち前の愛嬌でみんなの人気者でした。手のかかる子どもほどかわいいと言いますが、典型的な手のかかる子どもでした。今も同じかもしれません…(笑)

妊娠3週目～2か月間、寝たきりで入院していました。退院後も起き上がることを禁止されていたので、ほとんど布団での妊娠期間を過ごしました。8か月までツワリがあったので出産時は妊娠前と比べて体重は2kgの増量だったので娘を出産後すぐスリムに！！とてもつらい妊娠期間だったけど、おなかの中で動く、まだ見ぬ我が子にとっても幸せいっぱいの気持ちで過ごせました。緊急の帝王切開になったりと生まれてきてくれるまで大変でしたが、妊娠・出産ほど幸せな体験は今後2度とないと思います。

息子は長男で初めての妊娠でしたが、妊娠初期に切迫流産となり、約2か月の絶対安静になってしまいました。慣れない入院生活、初めてのつわりなどでとても時間が長く感じられて、つらかったことを思い出します。また病院には、いろいろな妊婦さんがいて、様々な妊娠・出産体験を耳にすることができました。結果的には、最初の2か月を除けば順調に10か月が過ぎ、出産も大変な安産(約2時間で生まれました)だったので、最初に苦しい思いをしたおかげで、改めて無事に生まれてきてくれたことに感謝することができ、生命の大切さを思い知ったのでした。

ワークシート

「かけがえのない生命～私の生い立ち～」

1年組 氏名 \_\_\_\_\_

1. 私が生まれたとき。

●身長 \_\_\_\_\_ cm

●体重 \_\_\_\_\_ g (            kg)

●名前の由来

---

---

---

2. 現在の体格は。

●身長 \_\_\_\_\_ cm

●体重 \_\_\_\_\_ kg

★生まれてからどの位大きくなったかな。

■身長 \_\_\_\_\_ cm

■体重 \_\_\_\_\_ kg

3. 保護者の方が書いたエピソードを読んで、感じたことを書きましょう。

---

---

---

---

---

---

---

# 親子の絆

中学校  
1 学年  
道徳

## 1 ねらい 内容項目 4－(6) 家族愛

父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くことができるようにする。

## 2 主題について

中学生という時期は思春期であり、精神的に不安定な時期でもある。同時に、自我の目覚めにより、自分本位の考えが表面化してしまい、親に対しても反抗的な態度をとりがちな時期でもある。そこで改めて、家族の在り方や家族愛について考えさせる中で人を思いやる心を育てる。

## 3 資料について

資料2では、家族愛について考えさせることを主たるねらいとして指導する。思春期にありがちな親への反抗的態度を扱った資料を通して、親の気持ち、子どもの気持ちを考えさせる。また、親子の関わりを扱った資料3に触れさせることで、親への感謝の気持ちや思いやりの心を育て、よりよい親子関係や明るい家庭をつくるために役立てたい。

## 4 児童虐待防止指導上のねらい（身に付けさせたい資質・能力 ①－ア、イ、ウ）

子どもたちが、やがて親になったときに虐待をしない親になるために、親の愛情の深さや命の大切さを考えさせる。

## 5 展開

### ☆児童虐待防止指導上の配慮

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 ・ 支 援
導 入	1 アンケート（資料1）の結果を知る。  アンケート ①命という言葉からどんな印象を持つか。 ②親子という言葉にはどんな印象を持つか。 ③心と体のことに不安や悩みはあるか。  2 本時のねらいを知る。	・アンケートの結果のまとめを静かに聞かせる。 ・命や親子関係のことについて考えさせる。 ・他の人の考えを知り、自分の考えと比べさせる。 ☆心や体に不安や悩みを感じるのは、普通であることを意識づけたい。  ・本時のねらいは、思春期における親子関係について、考えることである

		ことを伝える。
展 開	3 資料2「ある母親からの相談」をもとに、母親、子どもそれぞれの立場になって考える。  ・資料3「遊園地のチケット」を読み、母親にどのように声をかけるか考える。	・資料2「ある母親からの相談」をもとに、母親、子どもそれぞれの立場になって①、②を考えさせる。 ① 子どもはどのようにして、こんなことを親に言ったのでしょうか。 ② 子どもにこんなことを言われたら、親はどんな気持ちでしょう。 ・資料3「遊園地のチケット」を読ませ、空欄Aのところで、自分が子どもだったら、この母親に対してどんな言葉をかけるか考えさせる。
	4 教師の範読、資料4「保護者からのメッセージ」を聞き、親の思いを考える。	・資料4「保護者からのメッセージ」にある親はどんなことを思ったのかを考えさせる。
	5 子育てをしている親の気持ちについて考える。 (例) ・いけないことをしたり、親の言うことを聞かなかつたら？ ・しつけとはどのようなものか？ ・しかるときってどんな気持ちか？	・資料2～4のような思いを持って、子どもを育ててきた親の立場に立って考えさせる。 ☆保護者の気持ちを理解することにより、より良い家庭をつくろうとする気持ちを育てる。 ☆虐待としつけの違い。子どもを育むという本来の意味に気付くようにする。
終 末	6 「自分の番 いのちのバトン」 (資料5) 朗読  7 感想記入。	☆「いのちのバトン」はずっと続いていくことを伝え、一人一人の命の大切さについて考えさせたい。

## 6 評価

- ① 人として育てられることの意味や親から子に注がれる愛情を理解し、生まれたことの尊さや責任について考えることができたか。
- ② 豊かな人間関係を築いていくことの大切さを学び、よりよく生きていこうとする態度を身に付けることができたか。



## 7 児童虐待防止指導上のポイント

- (1) 児童虐待を受けたと思われる生徒がいる場合について
  - ・虐待あるいは虐待に近い行為を受けた子は、親子関係や親の愛情に神経質になっている子どももいる。そうした生徒がいる場合、この授業の実施も含め、慎重に取り扱わなければならない。
- (2) 事前指導の留意点
  - ・命や親子に関するアンケートを事前に行い、まとめておく。
  - ・児童虐待のニュースなど、関連する事項について、普段からふれておくようにする。
- (3) 事後指導の留意点
  - ・親の子どもへの愛情についてふれることで、しつけの行為すべてを虐待ととらえないようにする。
  - ・保護者の方へのお礼を、子どもに書かせたい。

## 8 成果と課題

- (1) 成果

生徒の感想には、命の大切さ、親の深い愛情について学ぶことができたというものが多かった。特に、保護者のメッセージは本人にとって感動的であったようで、生まれたことの尊さや責任について考えるのに有効であった。
- (2) 課題

本題材は、児童虐待防止上のねらいとして①ーア（生命を尊重する）、①ーイ（自己尊重の感情を持つ）、①ーウ（他者を尊重する）の3点をあげている。今後も様々な場面で「自分や他者を大切にする」学習に取り組んでいきたい。また、将来の虐待防止のため、よい親子関係づくり、家庭づくりについても継続的に指導を続けていくことが必要である。

### （生徒の感想）

ぼくはこの授業で、家族の大切さを学びました。いまぼくがここにいるのは、両親やそのまた両親がつないだ大切な命なのです。そして、人を言葉で簡単に傷つけてはいけないと思いました。傷つけられた人はとても悲しむので、絶対にしてはいけないことだと思います。人が生まれてくることは、とてもうれしいことだし、すばらしいことだと思います。自分が生まれてきたことにもきっと何か理由があるのだと思います。自分が何をするために生まれてきたのか見つけたいと思います。お母さんが大切に産んで育ててくれたこの命を、自分も大切にしたいと思います。そして、自分が親になったら、自分が親に大切にされたように子どもを大切にしていきたいと思います。

## 資料1 アンケート用紙

命や親子に関するアンケート

(1) 命という言葉を知くと、どんな印象を持ちますか？

思い出す言葉、連想されることなど自由に記入してください。

[ ]

(2) 親子という言葉を知くと、どんな印象を持ちますか？

思い出す言葉、連想されることなど自由に記入してください。

[ ]

(3) 心や体のことで不安や悩みはありますか。

ア たくさんある    イ 少しある    ウ ほとんどない

(4) 不安や悩みを誰に相談しましたか。また、誰に相談したいですか。

ア 父母    イ 友人    ウ 先生    エ 先輩    オ 兄や姉  
カ その他 ( )

## 資料2 「ある母親からの相談」

小さいときは、私のそばから離れない甘えん坊だった息子が、中学校2年生になったころから、急によそよそしく、反抗的になってきました。小学校のときは、とても優しい子で、私のお手伝いなどもよくやってくれていました。また、学校での出来事をうるさいくらいに私に話してくれていたのに、今では、学校での出来事どころか、会話もほとんどなくなりました。

夕食の時間だけ、自分の部屋から出てきて、食事が終わったら、すぐに自分の部屋にこもってしまいます。この間、ちょっと部屋をのぞいたら、携帯電話で友達にメールを送っていました。私が、「少しは、勉強したら？」と言うと、「うるせえ！勝手に人の部屋に入って来るな！出て行け！」と大声で怒鳴られました。私の育て方が間違っていたのでしょうか。どうしたら、以前のような優しい息子になるのでしょうか。

### 資料3 「遊園地のチケット」

私の父は、幼い頃に亡くなり、母は女手一つで、再婚もせずに私を育ててくれました。元々裕福ではなかったので、母は働きに出ざるを得なくなりました。朝は近くの工場で、昼から夜にかけてはスーパーで働きました。休日にどこかへ出かける余裕もなく、休日はよく母の手作りの弁当を持って、近所で遊んでいました。

ある日、母が勤め先の知り合いから遊園地のチケットを2枚もらってきました。私は生まれて初めて遊園地に行ける喜びと母と二人で休日を過ごせる喜びで興奮し、前日はなかなか眠れませんでした。母は朝早く起きて、いつもより少し豪華な弁当を作ってくれました。

遊園地に着き、チケットを見せて入ろうとすると、係員に止められました。母がもらったのは入場券ではなく優待券だったのです。

入場券売り場で入場券を買わなければいけないと言われ、帰りの電車賃くらいしか持っていなかった私たちは、外のベンチで弁当を食べて帰りました。

電車の中で母が「母ちゃん、バカでごめんね」と言って涙をこぼしました。そのとき、私は、母にこう言いました。

A

### 資料4 「保護者からのメッセージ」

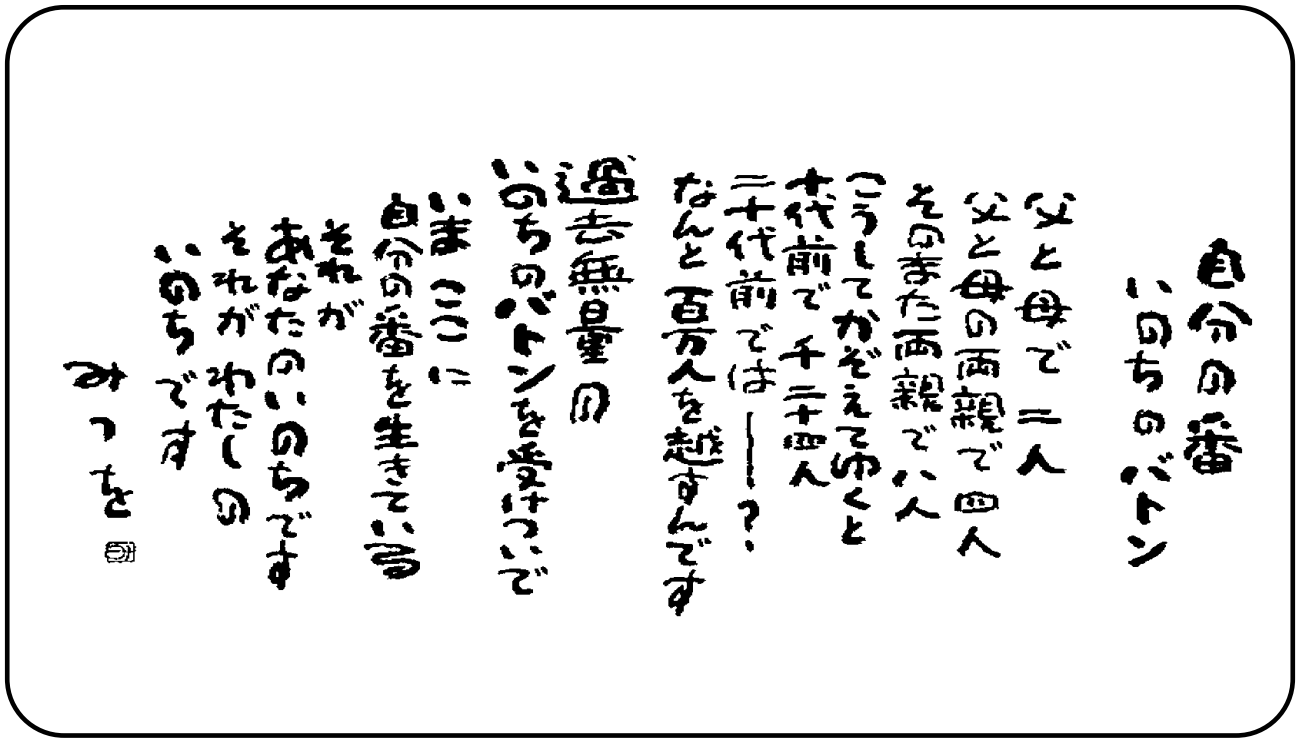
あなたはお母さんのおなかに宿ったときから、ピンチの連続でした。妊娠初めにお医者さんに「この子はあきらめてください」と言われてしまいました。

でも、もちろん大切な命をそんな簡単にあきらめるわけがありません。できることはすべてやりました。2歳だったお兄ちゃんに寂しい思いもさせました。

結局8か月まで育て、待ちきれずにあなたは外に出てきました。2000グラム。そのときも、お医者さんに「育たないかもしれない」と言われてしまいました。

私たちは、少し病弱でも生きてさえいてくれればと思って育てました。あなたが、人よりゆっくりでも確実に育っていることが本当にうれしくて、それで十分でした。今では、とにかく元気な子になって、信じられない話です。

あなたは生きていだけで価値があるのです。そして、それは誰にでもいえることです。命とはそういうものです。



相田みつを著「本気」（文化出版局）より  
©相田みつを美術館 <http://www.mitsuo.co.jp/>

# いいところ探偵

中学校  
2 学年  
学級活動

## 1 ねらい

- (1) 自己尊重の感情を育てるとともに、自尊心をもって行動しようとする意欲をはぐくむ。
- (2) 自分や友人の長所を肯定的にとらえ、お互いのよさを再認識させる。

## 2 題材について

この発達段階の生徒は、他の生徒たちと比較して自分を過小評価し、自己否定的になりがちであり、自分のよさを素直に認め、適切に表現することがうまくできない傾向にある。

そこで、自己肯定的なキーワード群を手がかりに、肯定的な自己理解を深めるとともに、自己尊重の感情を育成したい。また、お互いの長所を探し合う学習活動を通して、自己及び他者のよさを再認識させたい。

本題材での授業を実施するにあたり、次のような事前・事後の学習活動を行うものとする。

### (1) 事前の学習活動

- ・ 友達をよく見て、キーワードをもとに友達のよいところを探す。

<キーワード>

- a. 責任感のある   b. まじめな   c. 公平な   d. 根気強い  
e. 心配りができる   f. 落ち着きのある   g. 親切的な   h. 礼儀正しい  
i. 正直な   j. 素直な   k. 決断力のある   l. 頼りになる  
m. 思いやりのある   n. 優しい   o. 誠実な   p. てきぱきとした  
q. 協力的な   r. 地道な   s. 知的な   t. 陽気な  
u. 生き物を大切にする   v. 自分の意見を言える   w. 判断力がある  
x. 他人の意見を受け入れる   y. 正義感がある   z. 行動力がある

- ・ 1週間程度の期間中毎日、帰りの会でワークシート1に記録する。

### (2) 事後の学習活動

- ・ 友達が教えてくれた「よいところ」を参考にして、自己PR文を作成する。
- ・ 帰りの会の30秒間スピーチで発表し合う。

## 3 児童虐待防止指導上のねらい（身に付けさせたい資質・能力 ①ーイ、①ーウ）

- (1) 自分自身に対する誇りをもち、自分を価値ある存在として肯定的に認め、受け入れさせる。
- (2) 自分及びすべての他者をかけがえのない人間として尊重するようにする。

#### 4 展 開

#### ☆児童虐待防止指導上の配慮

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 ・ 支 援
導 入	1 これまでの学習活動をふり返るとともに、本時の授業のねらいを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習の流れを整理するとともに、本時のねらいを明らかにする。</li> <li>☆お互いのよいところを見つけ、認め合うことが、これまでの学習のねらいであったことを確認する。</li> </ul>
	<p>自 分 の 長 所 を 考 え よ う</p>	
展 開	2 自分のよいところを探す。 ・ワークシート2の1を記入する。  3 ワークシート1の報告書を受け取り、感想を書く。 ・ワークシート2の2を記入する。  4 自分の思ったことや感じたことを話し合う。  5 新しい自分を発見する。 ・ワークシート2の3を記入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のよいところが分からなければ、キーワードをイメージさせる。</li> <li>うまく探せない生徒には、教師がその生徒の長所を一つ挙げるような支援をして安心させる。</li> <li>落ち着いた雰囲気を読ませ、どう感じたか正直に書くように促す。</li> <li>友だちが見つけてくれたよいところを感じ取らせ、自分のことをもう一度考えさせる。</li> <li>本人がワークシート1の報告書をもらい、どんな気持ちになったかなどを話し合わせる。</li> <li>十分に時間をとる。</li> <li>新しい自分に気付かせる。</li> <li>☆友達が教えてくれた自分のよいところを肯定的に受けとめ、自分自身に対して誇りをもたせる。</li> </ul>
終 末	6 今後の活動について知る。 ・自己PR文づくり ・30秒間スピーチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己PR文を作り、帰りの会での30秒間スピーチで発表し合うことを伝える。</li> <li>ワークシート2の4～6を記入させる。</li> </ul>

#### 5 評 価

- ① 自分自身のよさに気づき、自尊心をもって行動しようとしているか。
- ② 人それぞれのよいところを肯定的に受けとめようとしているか。

※平成20年3月31日埼玉県教育委員会発行の「人権感覚育成プログラム（学校教育編）」

『自分』『人』 彩発見プログラム」を実践したものである。

## 6 児童虐待防止指導上のポイント

- (1) 児童虐待を受けたと思われる生徒がいる場合について
  - ・この授業は、直接「児童虐待事例」を扱うものではなく、自他を尊重し合う精神に基づき、お互いのよさを肯定的にとらえられるように設定されたものである。虐待を受けている疑いのある生徒がいる場合には、友達の心の温もりを感じさせ、自分自身に誇りをもたせるというねらいから、積極的に取り上げたい授業内容である。
- (2) 事前指導の留意点
  - ・グループづくりでは、クラスの現状や生徒一人一人の状況を踏まえてグループをつくる。教師が4人程度のグループをつくり、本人以外には知らせない。
  - ・それぞれが対象とする仲間の行動や発言を注意深く観察させる。特に授業、清掃や諸活動において、よいところを探すように指示する。書いていない場合は個別に支援する。
- (3) 事後指導の留意点
  - ・自己PR文は、自分の意識している長所と新しく発見した長所を参考につくる。
  - ・自分の長所を伝え、自己肯定の意識を高める手段とする。しかし、生徒の状況により発表しないことも認める。
  - ・友達の評価よりも低い自己評価をしていると思われる生徒に対しては、今後の学校生活の様々な場面において、温かい声かけを重ねていく。
- (4) その他

学級活動の時間において、児童虐待防止に関する指導を行う場合は、学級活動のねらいや内容と関連づけ、計画的な指導ができるように配慮する必要がある。

## 7 成果と課題

- (1) 成果
  - ・自分自身で気がついていなかった長所を友達から伝えられることにより、前向きな気持ちで自己を見つめ直し、自分のよさに自信を深めることができた。
  - ・お互いのよさを認め合うことによって、相手の言動を広い心で受けとめ、他者を温かい目で見られるようになってきた。
  - ・体育祭や文化祭などの学校行事に関連したクラスの取り組みとも相乗効果をもたらし、集団への帰属意識をより一層高めることができた。
- (2) 課題
  - ・本題材は、児童虐待を防止するために身に付けたい資質や能力の一つとして、「自分や他者を大切にする態度」の育成をめざす取り組みを行った。さらに、虐待の状況や現実を学習と関連づけて展開することも考えられる。
  - ・今回の授業では、キーワードをもとに友達のよさを見つける活動を通して、生徒の人権感覚の育成に努めた。キーワードについては、学級の実態に応じて適切に設定し、日頃の中学校生活のあらゆる場面において人権尊重の指導を継続していきたい。

(生徒の感想)

1 友だちからの報告書を貼っておこう

さん	授業中、全く私語をせずに、真剣に取り組んでいたの、すごいと思った
a, b, c, d	

さん	合唱実行委員のときもしっかりと自分の仕事をやっていて、何かあったときには助けてくれる。
1. 頼りになる	

さん	だれにでも公平な態度で優しく思いやりがあって、すごいと思いました。
c 公平な, h 優しい, m 思いやりがある	

2 友だちからの報告書を読んで、どう思いましたか。

自分のことを良く書いてあるのを見たら、驚きとうれしさ、両方ありました。

他人から見られて、自分の長所が初めて分かった。また、具体的に書かれていたの、うれしかった。

3 新しい自分が発見できましたか。友だちが教えてくれた「よいところ」をもとに考えてみよう。

他人から教えてもらった長所は、もっと向上させて、悪いところは、みんなと対処していきたいと思う



4 「いいところ探偵」の学習活動全体を通しての感想

「いつも明るくて優しい」と書いてくれてこれからはずっと自分の長所をのびのびしていけたら良いと思いました。

他人と自分の長所を改めて理解できたと思う。  
この授業は来年も続けてほしい。

他の人のいいところや、自分のいいところを発見できたとてもいい機会になったと思います。これから、他の人も自分のいいところをもっと、もっとがっかりと書いてほしい。

この学習で、自分のいいところだけでなく友達のおいところもみつけたことができたのでよかったです。

自分のいいところがたくさんみつけれましたし  
友達のおいところもたくさんみつけれられたので  
よかったです。

ワークシート1

いいところ探偵

～友達の良いところを見つけよう～

組番氏名

下のキーワードを参考にして、友達の良いところを見つけよう。どんな場面を見て、そう思ったか、一日の生活でしっかり覚えておいて、帰りの会の時間に記入しよう。

<キーワード>

- a. 責任感のある b. まじめな c. 公平な d. 根気強い e. 心配りができる  
 f. 落ち着きのある g. 親切な h. 礼儀正しい i. 正直な j. 素直な  
 k. 決断力のある l. 頼りになる m. 思いやりのある n. 優しい o. 誠実な  
 p. てきぱきとした q. 協力的な r. 地道な s. 知的な t. 陽気な  
 u. 生き物を大切にする v. 自分の意見を言える w. 判断力がある  
 x. 他人の意見を受け入れる y. 正義感がある z. 行動力がある

(例)

(キーワードは1つだけではなく、たくさん見つけてあげよう)

〇〇 さん	広報委員会の仕事をさぼらず、しっかりやっていたのを見て、すごいと思いました。
a 責任感のある	

報 告 書

		行	動
名前	さん		
キーワード			
名前	さん		
キーワード			
名前	さん		
キーワード			

ワークシート2

いいところ探偵

～私の長所を考えよう～

組 番 氏名

今日の授業は、「いいところ探偵 ～私の長所を考えよう～」です。友達からの意見も参考にして、自分のよいところを探してみよう。きっとあなた自身が気付いていない、あなたの「よさ」が見つかりますよ。

<キーワード>

- a. 責任感のある   b. まじめな   c. 公平な   d. 根気強い   e. 心配りができる
- f. 落ち着きのある   g. 親切的な   h. 礼儀正しい   i. 正直な   j. 素直な
- k. 決断力のある   l. 頼りになる   m. 思いやりのある   n. 優しい   o. 誠実な
- p. てきぱきとした   q. 協力的な   r. 地道な   s. 知的な   t. 陽気な
- u. 生き物を大切にする   v. 自分の意見を言える   w. 判断力がある
- x. 他人の意見を受け入れる   y. 正義感がある   z. 行動力がある

1 自分のよいところはどこだと思いますか。番号で記入してみよう。

理由

-----  
-----  
-----

2 友達からの報告書を読んで、どう思いましたか。

-----  
-----  
-----

自分の思ったことや感じたことを話し合ってみよう

3 新しい自分が発見できましたか。友達が教えてくれた「よいところ」をもとに考えてみよう。

☆4～6については、 月 日までに書いて提出しよう

4 自己PRを入れた30秒間スピーチを考えてみよう。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
-------------------------------------------------

5 感想

(1) (自分について) 発表する前と後では、どのような気持ちの変化がありましたか。

----------------------------------

(2) 「いいところ探偵」の学習活動全体を通しての感想

----------------------------------

6 自己評価

(4 はい ← → 1 いいえ)

☆あてはまる数字に○をつけよう。

(1) 課題について真剣に考え、積極的に学習活動に取り組むことができましたか。

4 3 2 1

(2) 友達の意見を受け入れながら、自分の意見を表現することができましたか。

4 3 2 1

(3) 自分のよさに気づき、自分自身に誇りをもつことができましたか。

4 3 2 1

(4) 友達のよい面を見つけることができましたか。

4 3 2 1